

6月の行事予定

2日(金) 健脚活動②
 9日(金) 誕生会
 15日(木) 歯科検診・シャワー開始
 28日(水) 総合避難訓練
 30日(金) 水あそび・プール開き



7月の行事予定

7日(金) 誕生会
 25日(火) 避難訓練



※行事は変更する場合があります。ご了承ください。

やまびこだより

社会福祉法人岡山こども協会 とよた保育園

赤磐市松木 549 TEL 995-0244

令和5年6月1日発行

299号



社会福祉法人岡山こども協会

目線の先には

最近園庭に出て遊んでいる子どもたちを見ていると、下を向いて何かを探しています。そーっと近づいて何をしているのかを覗いてみると、何やら丸い物を集めている様子。たまたま「何をしているの?」と聞いてみると、「木の実、集めているの」「見て!たくさん落ちてるよ」と伝えます。鮮やかな色をしている丸い物の正体はなんとユスラウメの実だったのです。とよた保育園の園庭には様々な木があり、その種類は合わせて32種類あります。今の時期にはユスラウメの実が赤く熟し始めて、それが自然に地面に落ちているようです。子どもたちはその実をまるで宝石のように丁寧に拾い集め、友だちと見せ合っこしていました。

木の実の他にも生き物だったり、不思議な形をした枝、色や模様が面白い石だったり、こどもの目線の先にはいろいろな面白いと感じるものがたくさんあるようです。大人の目線ではそれが当たり前だったり、見慣れた物であったりするとせっかくの驚きや発見のチャンスを見逃してしまいがちです。時には腰を据えて、子どもたちと同じ目線で周りを見てみることで、素敵な出会いや気づきがありそうでワクワクします。

井上 隆雄

職員紹介&いいことさがし

今月は、子どもたちの癒し系、そしてとよた保育園の縁の下の力持ちのこの2人の紹介です。

藤田 実穂 (看護師)

- ① 手芸・パン作り
- ② こどもといろいろなレジャー施設に行くこと
- ③ お子さんの体調等で気になることがあれば気軽に声をかけてください。

- ① 特技
- ② 趣味
- ③ ひとこと

↓お互いのいいところを伝え合っています↓

本近 敬子(はなゆき組)

- ① 味噌作り(大豆栽培をして2年間かけて手作り味噌を作っています。)
- ② 野菜作り
- ③ 野菜を作り始めてから4年目になりました。生ゴミの堆肥で野菜を育てています。

藤田さんは、落ち着いてゆったりとした雰囲気です。子どもたちに関わってくれています。穏やかで優しく安心感を与えてくれます。(本近より)

とても優しく、私の話を最後まで「うんうん」と聞いてくれる本近さん。いつもテキパキ動かれていて私も見習わないとなと思っています。(藤田より)

畑情報



5月26日に地域の方と一緒に、そら畑にさつまいもの苗を植えました。

苗を植えた後、水やりをしたのですが、大きなジョウロに水を入れると、重たくて1人では持てません。そこで考えたそら組の2人。力を合わせて、ジョウロを畑まで運び、1人は重いジョウロを両手で持ち上げ、1人はジョウロから出る水がきちんと苗にかかるように先の向きを調整していました。

友だちと力を合わせると何だってできますね。素敵な姿でした。



とよた保育園ホームページ URL とQRコード
<https://toyota.okayamakodomokyoukai.jp>

つくしグループ



友だちを大切に、 共に育ち合う子

ご存じですか？社会福祉法人岡山こども協会の保育目標

一人ひとりのこどもを見つけ、**集団生活を通して**

○友だちを大切に、共に育ち合う子

○生き生きとした元気な子

○自分で考え行動する子

を育てる

6・7・8月の園だよりでは、この3つの目標をテーマにしてこどもたちの様子をお伝えします。

どうしたら届くかな？

つき組の子が持っていたすももの実が駐車場まで転がりました。困っている姿を見たそら組たちが、「どうしたの？」と声をかけ、事情を知ると「わかった。取ってあげるよ」と園庭から木の枝を探してきて、腕を伸ばすのですが届かず。そこで考えたこどもたち。「木を繋げてみよう」「テープがいる」「テープちょうだい」と言うので、テープを用意すると「こうやって繋げてみよう」と一度試し、うまくいきませんでした。工夫しては試すことを繰り返し、何度かすると実にあたったのですが、さらに遠くへ転がってしまい頭を抱えるこどもたちでした。

一つのエピソードの中にも、困った時に声をかける優しい気持ち、どうしたらよいかを友だちと考える真剣さなど、こどもたちの共に育ち合う姿がたくさん見られました。



たんぽぽグループ

一緒に抜こうよ

共同農園で玉ねぎの収穫をしました。玉ねぎの根がしっかりと根付いており、なかなか抜けずAさんが困っていました。すると、側にいたBさんが気づき「抜ける？」「手伝おうか」とそっと手を添え、力を合わせて抜いていました。友だちの姿に気づいて自ら助けようとするところに異年齢で過ごす良さを感じました。



はなゆき組

同じように

自分の好きなあそびを見つけて遊び始めるようになった、はなゆき組のこどもたちです。友だちの名前を呼べるようになった子もいます。その中である日、いつものように三輪車で並んで進んでいたFさんとGさん。その後も2人で、一緒に平均台の上ったり、砂場横の木の下に台を引っ張っていき、あそび場を作って遊んだりして、しばらく同じように遊んでいました。友だちと遊ぶことの楽しさを少しずつ感じていることが分かる場面でした。



にじ組

友だちと手をつないで

CさんとDさんが一緒に遊んでおり、その近くにEさんもいました。するとCさんとDさんは「Eさん一緒に遊ぼう」と声を掛け3人で手をつないで遊びに行きました。また、違う場面では手をつないで午睡に行く子や、あそびから部屋に戻る子もいました。

“友だちと手をつなぐ”ということ遊ぶ楽しさが増し、友だちと一緒にいる安心感につながっているのだと思いました。

